

『人間理解の基礎』『人間と健康』など 看護の専門科目以外の科目・領域

看護についてより深く学ぶためには、人間そのものの理解を深め、からだの健康を維持するしくみをよく理解する必要があります。「健康体力科学」、「生命倫理学」、「人体構造機能学」、「病態治療学」、「看護情報学」などの科目を学ぶことは、豊かな人間性や医学的・論理的思考力を培うためにもとても大切です。看護師を目指す皆さんのしっかりとした土台づくりになります。



精神看護学領域

精神看護学領域では乳児から老年まで、全ての人の心の健康に焦点をあて、心を病む人の理解、信頼関係を大切にしたい人々との関係づくり、コミュニケーション技術、セルフケア援助方法について学びます。また、学生自身が心の健康をよりよく保つために必要な知識や具体的な方法について学びます。



基礎看護学領域

基礎看護学は、すべての看護学領域の土台となる内容を学習する領域です。具体的には、看護の主要概念、看護の役割、看護実践を行うさいの基本的な考え方、看護におけるコミュニケーション、看護技術（生活行動を支えるための技術、診療を安全・安楽に受けることができるようにするための技術、身体診査を行うための技術）などを学びます。また、看護管理の概要についても学びます。



母性看護学領域

母性看護学では主に、母親と新生児の健康を支えるための看護について学びます。例えば、女性の身体や心はどのようにして成長していくのでしょうか。母親になろうとしている女性に対し、どのような援助が必要なのでしょう。学内での講義や実技の練習、病院での出産や新生児の看護の実習を通して、母子が健康に生活するための看護を学びます。

成人看護学領域

成人看護学では、社会の中心的役割を担う成人を主な対象として、手術や救急医療（急性期・周手術期）、リハビリテーション（回復期）、生活習慣病の調整や健康増進（慢性期）を必要とする方、がん看護や緩和ケアを必要とする方など、様々な対象への援助方法を幅広く学びます。成人の自立性、多様な価値観を尊重した看護を考えながら、講義・演習・実習へと連動させ、実践に必要な知識・技術を学んでいきます。



小児看護学領域

小児看護学領域では、小児の成長・発達の特徴を理解し、小児の健康レベルに応じた看護について学びます。さらに、小児の家庭や生い立ち等の背景と病態生理を踏まえてアセスメントできる能力を身につけます。そして、家族と小児に適切な看護援助を行なうための技術を習得し、小児を一人の人格として認め、いつくしみ関わっていく小児看護の“こころ”も大切に学んでいきます。実習は保育園、病院の小児科病棟などで行ないます。



老年看護学領域

高齢者の加齢に伴う身体機能、心理面、社会的役割の変化を理解し、健康と生活機能の維持・増進に向けた知識や技術の修得、高齢者に寄り添う心を大切にしています。

今後も少子高齢化が進み、75歳以上の高齢者や認知症の方も増えていきます。高齢者の人権を守り、高齢者の豊かさに学ぶことが真のケアであり、そのかわりには看護者自身にとっても幸福であることを実感し学ぶことを目指します。



在宅看護学領域

「住み慣れたところでその人らしく、最後まで安心して暮らし続けたい」というニーズにこたえられるよう、在宅看護学領域では、様々な健康問題を抱えて暮らす人々とその家族について理解し、生活の場で行われる看護の役割について学びます。在宅特有の知識・技術を学内の講義や演習で身につけ、保健所と訪問看護ステーション実習を通して、社会資源や保健医療福祉制度の連携について理解を深めます。

CIRCLE 卒業生インタビュー

これまで卒業生は、川崎市立病院をはじめとする川崎市内、近接する横浜市や東京都にある医療機関等に就職しています。また、看護系大学への編入や助産師・保健師の資格取得を目指して進学する卒業生もいます。

それぞれ特色のある川崎市立3病院で活躍する先輩の声を紹介します。



【川崎市立川崎病院】Aさん

私は現在、川崎病院の外科病棟に配属されて2年目になります。川崎病院は、学生の頃から実習を通してお世話になり多くのことを学び、その中でも周手術期の看護に興味をもち更に深めたいと思い、外科病棟を希望しました。臨床で働き始めて間もない新人の頃は、分からないことが多く不安もありましたが、経験豊富な先輩方から丁寧に指導していただき、看護を深め自信をつけることができました。今でも日々学ぶことは多いですが、患者さんに寄り添い、安心できる看護を提供できるように、自己の理想の看護師像を目指し頑張っています。学生生活の3年間は多岐にわたる看護を学ばせていただきました。先生方の心強いサポートのもと、仲間達と切磋琢磨し充実した学生生活を過ごすことができました。ぜひ川崎市立看護短期大学での学びを大切にしてください。



【川崎市立井田病院】Bさん

私は、川崎市立井田病院の整形外科・内科・皮膚科・婦人科を含む混合病棟に勤務しています。川崎市立看護短期大学は1年生から病院での実習があり、早い時期から現場の雰囲気を知ることができます。また、校内の演習設備やカリキュラム等が充実しており、臨床に必要な知識・技術を深く学ぶことができる環境が整っています。先生方との距離も近く、とても親身にサポートしてもらいました。忙しい学生生活でしたが、実習や国家試験を乗り越えた仲間存在は今でも大きな支えになっています。私の勤める井田病院は、新人教育体制や院内研修が充実しているため、知識や技術を高める機会がたくさんあります。現場の先輩方も相談しやすく、日々多くのことを学ぶことができます。皆さんと共に井田病院で働ける日を楽しみにしています。



【川崎市立多摩病院】Cさん

多摩病院の小児科では、主に急性期の患者の看護や、脳性麻痺の子どものレスパイトケアを行っています。1年目は覚えることも多く毎日緊張の連続でしたが、先輩方にアドバイスを頂きながら少しずつ自信をもって患児に接することができるようになりました。元気になって帰っていく患児たちの笑顔や「ありがとう」の言葉が、なによりも原動力になっています。小児看護を目指したきっかけは、私自身が幼いころ看護師から優しく接してもらい非常に安心した経験があり、将来は自分も同じような立場で子どもが健康になっていく姿を見届けたいという思いからでした。これからも経験を重ね、子どもたちが安心して治療を受けられるよう看護を提供していきたいと考えています。

【主な就職先】

川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、川崎市立多摩病院、聖マリアンナ医科大学東横病院、日本医科大学武蔵小杉病院、川崎協同病院、川崎幸病院、虎の門病院、神奈川県立こども医療センター、横浜市立大学附属病院 など

【主な進学先】

神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科、母子保健研修センター助産師学校助産師学科、日本赤十字社助産師学校、埼玉県立大学保健福祉学部看護学科 など

CIRCLE

サークル紹介

注目サークルを紹介します！

川崎メディックス

いろいろなサークルがあり、それぞれが積極的に活動しています。新人歓迎会の時などに、サークル勧誘があります。

「川崎メディックス」は2008年に創立された学生自治サークルです。主な活動内容は、依頼を受けたマラソン・駅伝大会でランナーが安心、安全に競技に挑めるよう有資格者である医師、看護師、保健師などの方々と共に行う救護部員としてのサポートです。質の高い救護を提供できるように、前日から宿泊して機材準備や救護所の設営をしたり、応急処置の方法を学生同士で確認したりしています。

夏には合宿を行うなど1年を通して楽しく活動しています。救護について学べることのほかにも、他大学の学生と交流の輪を広げられることも魅力です。

救護活動に興味のある方はぜひ！



サークル代表 Aさん



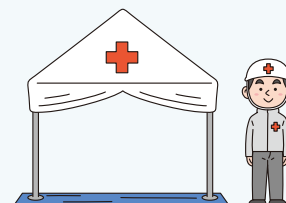
川崎メディックスのユニフォームです♪

背中のデザインが特徴です！



かわさき災害医療研究サークル

災害医療について勉強会を定期的に行っています。様々な災害医療について検討し、研究として発表することを目標にしています。



アシェイブ

月に一度、地域の小児病棟や障害者支援サークルなどでボランティアを行っています。新生児を抱っこしたり、遊びを通して学ぶことがたくさんあります。



ホリスティックサークルのぼのぼ

アロマの勉強とアロマグッズを作成しています。川崎市立井田病院の「ほっとサロンいだ」で、アロマハンドマッサージのボランティア活動も行っています。



軽音サークル

学年を越えて音楽好きな仲間が集ってバンドを組み、音楽活動をしています。演奏会も一年に何度か行っています。



バスケサークル

週に一度体育館で楽しくバスケットボールをしています。初心者、経験者問わず誰でも気軽に参加できるのが特徴です。他大学のサークルと合同で練習することもあり、交流もできます。今後は地域の大会に出場することも考えています。



施設案内



学校の施設を
紹介します！



中 庭

学生の交流の場として活用されています。



食 堂

こじんまりとはしていますが、あたたかい食事にホッと心が
なごみます。お弁当を持参して食べることもできます。



図 書 館

蔵書検索システムがあり、必要な情報へアクセスができます。
AVコーナーには、視聴覚資料が自由に利用できるブースを設置
しています。



母性小児看護実習室

母性・小児専用の実習室です。乳児・幼児モデルや母性看護
に関する設備を設置しています。



家庭看護実習室

身体に障害をもった人の家庭での生活や、その援助を体験で
きます。



基礎看護実習室 成人老年看護実習室

授業では2人で1台のベッドを使用でき、十分に看護技術の
練習ができる環境がととのっています。ほかにもたくさんの学
習モデルが備えられています。



講 堂

入学式、卒業式、講義で使用されるほか、講演会やイベントな
ども開催されます。



生活療法実習室

学生自身の健康・体力づくりのための運動
を実施したり、運動療法を体験学習する施
設です。放課後も予約制で利用できます。



体 育 館

授業で使用するほか、サークル活動でも
利用されています。



情報処理学習室

パソコンを47台設置。常時開放しています。
インターネットも利用できる環境が整って
います。

進路相談

就職及び進学については、学生が主体的に取り組み、適切な選択・決定ができるように教職員全員がサポートしてい
ます。進路指導のガイダンスを年3回行なっています。「就職・進学コーナー」を設置し、各施設のパンフレット、その他
進路に関する資料を自由に閲覧できるようになっています。

授業料など

必要経費（3年間分の学費）

川崎市は、地域社会に貢献できる人材の育成に努めているため、他の養成機関と比べ学費の負担が少なくなっています。

		1年生	2年生	3年生	備 考
入学金	川崎市の住民	¥84,600			川崎市の住民とは、本人、その配偶者、1親等の親族のいずれかが、入学する前年の4月1日以前から引き続き川崎市内に住所を有する人
	上記以外	¥169,200			
授業料		¥390,000	¥390,000	¥390,000	4月・10月の分納 改訂する場合があります。
諸経費	実習着(平均)	¥20,000			購入する種類や枚数により異なります。
	テキスト代(平均)	¥73,000	¥46,000	¥4,500	2年生、3年生時の金額はこれまでの実績額
	その他(平均)	¥35,000		¥5,400	B型肝炎予防接種、学生保険料、国家試験受験料(3年時)等
後援会費		¥30,000			入学時に一括して納入
学生自治会費		¥2,000	¥2,000	¥2,000	
合 計	川崎市の住民	¥634,600	¥438,000	¥401,900	約1,474,500円(3年間計)
	上記以外	¥719,200	¥438,000	¥401,900	約1,559,100円(3年間計)

奨学金制度（修学資金・奨学金・給付金）

修学資金には、川崎市や神奈川県のものがあります。奨学金は日本学生支援機構のものに加えて、本学独自の奨学金制度があり、経済的支援を行っています。
詳細は、総務学生課にお問い合わせ下さい。

日本学生支援機構奨学金

- ①第一種奨学金(無利子)
貸与額(月額) 自 宅 20,000円
30,000円、45,000円
自 宅 外 20,000円
30,000円、40,000円、51,000円
上記の種類から選択
- ②第二種奨学金(有利子)
貸与額(月額)
20,000円から120,000円まで
10,000円単位で選択

川崎市立看護短期大学奨学金（無利子）

貸与額(月額) 36,000円

神奈川県看護師等修学資金（無利子）

貸与額(月額) 一般 17,000円
特例※ 40,000円
※住民税非課税世帯等の要件があります。

川崎市看護師等修学資金（無利子）

貸与額(月額) 32,000円

川崎市弘済会奨学金（給付）

給付額(月額) 20,000円

要項請求・問い合わせ

学生募集要項請求方法

- 1.  テレメールで請求する方法
 - インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）の場合 <http://telemail.jp>
 - 自動音声応答電話の場合 IP電話 **050(8601)0101** 音声ガイダンスに従って操作してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
大学案内	571060	140円
募集要項(一般・公募推薦・社会人・学士)	591050	250円
募集要項(一般・公募推薦・社会人・学士)・大学案内	551050	250円

※料金は、届けられた資料に同封されている支払方法に従ってお支払いください。
※資料完成前のご請求は予約受付となり、完成後に一斉に発送します。
※料金は変更になる場合があります。

テレメールカスタマーセンター **050(8601)0102** (9:30~18:00)

2. 本学へ請求する方法(募集要項と大学案内をセットで配布します。)

- 本学に直接取りに来る場合(窓口受付時間 平日8:30~17:00 ※土日祝日及び年末年始を除く)
- 郵送により本学へ請求する場合(返信先の郵便番号、住所、氏名を明記し、300円分の切手を貼付した角型2号の返信用封筒を同封のうえ、送信用封筒に「募集要項等請求」と朱書きして、下記の請求先へ郵送してください。)

● 入学試験に関するお問い合わせ・募集要項等請求先

〒212-0054 川崎市幸区小倉4丁目30番1号
川崎市立看護短期大学総務学生課 入試担当 電話 044-587-3502

シティガイド

川崎は、個性と魅力に輝いています。
「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」を目指しています。



オープンキャンパス

- 2019年8月6日(火)
- 2020年3月14日(土) ※ミニオープンキャンパス

入試相談会

- 第1回 2019年6月22日(土)
- 第2回 2019年7月20日(土)
- 第3回 2019年10月5日(土) ※青朋祭と同日開催

川崎市立看護短期大学

〒212-0054 川崎市幸区小倉4-30-1

TEL 044(587)3500 FAX 044(587)3506

<http://www.kawasaki-nursing-c.ac.jp/>



徒歩

JR南武線矢向駅から約15分

バス

各バスいずれも「末吉橋」下車徒歩3分
JR川崎駅西口から

- ・バス乗場59番…臨港バス 川53「元住吉(末吉橋経由)」行または川57「末吉橋矢向循環」
 - ・バス乗場60番…臨港バス 川51「綱島駅」行
- (JR南武線「尻手駅」バス乗り場からも同様に乗車できます。)

東急東横線綱島駅東口から

- ・バス乗場6番…臨港バス 川51「川崎駅西口」行

